

研究キーワード

動物の行動, 人と自然の精神的つながり, 野生生物の生態と保護

小林 朋道

理事長兼学長

KOBAYASHI, Tomomichi

t-kobaya@kankyo-u.ac.jp

主な担当科目 生物学概論, 自然環境保全概論, 動物行動学, 保全生態学

研究者略歴

1981 (昭和56)年 3月	岡山大理学部生物学卒業
2004 (平成16)年 1月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科助教授
2006 (平成18)年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科・大学院環境情報学研究科教授
2012 (平成24)年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科教授
2014 (平成26)年 4月	鳥取環境大学副学長補佐(研究・社会貢献・国際交流担当)
2015 (平成27)年 4月	公立鳥取環境大学副学長補佐(研究担当, 地域貢献・国際交流担当), 環境学部環境学科教授, 大学院環境情報学研究科教授
2016 (平成28)年 4月	公立鳥取環境大学環境学部長, 大学院環境経営研究科副研究科長, 環境学専攻長
2018 (平成30)年 4月	公立鳥取環境大学環境学部長, 大学院環境経営研究科研究科長, 環境情報学部研究科長
2022 (令和 4)年 4月	公立鳥取環境大副学長(学生生活・就職, 広報, 地域連携・国際交流, 企画・評価担当), 学生支援センター長
2024 (令和 6)年 4月	公立鳥取環境大学理事長兼学長

取得学位

理学博士 (京都大学)

専門分野

動物行動学, 進化心理学

現在の研究テーマ

- 脊椎動物の行動や生態に関する研究とそれに基づいた生息地保全活動
- 人と自然の精神的関わりに関する動物行動学的解析

受賞歴

1993 (平成5)年4月 岡山県野崎教育賞

所属学会

日本動物行動学会, 日本生態学会, 日本環境教育学会

研究等活動

【著書】

- 「ウソみたいな動物の話を大学の先生に解説してもらいました」(単著)2025年2月秀和システム
- 「先生、ヤギとイルカは親戚なのですか!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学(単著)2025年1月築地書館
- 「モフモフはなぜ可愛いのか 動物行動学でヒトを解き明かす」(単著)2024年2月, 新潮社
- 「先生、シロアリが空に向かってトンネルを作っています!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2024年1月, 築地書館
- 「動物行動学者, モモンガに怒られる」身近な野生動物との共存(単著)2022年5月山と溪谷社
- 「先生、大蛇が図書館をうろついています」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2020年6月, 築地書館
- 「先生、アオダイショウがモモンガ家族に迫っています」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2019年6月, 築地書館
- 「フィールドワークという魔力」中央論 Digital Digest (共著)2019年9月 中央論社
- 「先生、脳の中で自然が叫んでいます!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2018年8月, 築地書館
- 「先生、オサムシが研究室を掃除しています!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2018年5月, 築地書館
- 「進化教育学入門-動物行動学から見た学習」(単著)2017年11月, 春秋社
- 「ホモ・コントリビューエンス」(分担著)2017年11月, 未来社
- 「先生、犬の捜索をサンショウウオにさせるのですか!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2017年5月, 築地書館
- 「先生、インギンチャクが腹痛を起こしています!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2016年6月, 築地書館
- 「先生、洞窟でコウモリがアナグマと同居しています!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2015年6月, 築地書館
- 「ヒトの脳にはクセがある 動物行動学的人間論」(単著)2015年1月, 新潮社
- 「ヒト、動物に会う コバヤシ教授の動物行動学」(単著)2014年3月, 新潮社
- 「絵でわかる動物の行動と心理」(単著)2013年4月, 講談社
- 「なぜヤギは車好きなのか? 鳥取環境大学のヤギの動物行動学」(単著)2012年5月, 朝日新聞出版
- 「利己的遺伝子から見た人間」(単著)2012年3月, PHP研究所
- 「先生、キジがヤギに縄張り宣言をしています!」鳥取環境大学の森の人間動物行動学 (単著)2011年3月, 築地書館
- 「ヒトはなぜ拍手をするのか-動物行動学から見た人間」(単著)2010年12月, 新潮社
- 「動態研究の方法」(分担著), 2010年8月, 人類動態学会

【論文】

- 紫外線カットフィルムは鳥の窓ガラス衝突を抑制するか: 公立鳥取環境大学構内における衝突と対策(共著)Japanese Journal of Ornithology 2025 (印刷中)
- ケブカクモバエは体毛からのニオイを手がかりに自然宿主ユビナガコウモリを選択しているのか(単著)自然環境科学研究 36 巻 p. 1-7, 2023年12月
- ニホンヤマネにおけるフクロウの鳴き声に関する認知と記憶(単著)山陰自然史研究27巻 2022年12月
- ユビナガコウモリにおけるテンの体毛のニオイに対する識別と忌避行動(共著)山陰自然史研究27巻 2021年
- ニホンモモンガに外部寄生するノミMonopsyllus argusは自然宿主と非自然宿主の体毛を識別するか(単著)山陰自然史研究26巻 2020年
- トガリネズミChimarrogale platycepalusは水中で“スクーバタンク”を利用している可能性がある(共著)山陰自然史研究26巻 2020年3月
- 鳥取県内における洞窟性コウモリの生息状況 鳥取県立博物館研究報告(単著)55巻2018年3月
- ニホンモモンガPteromys momongaによるフクロウの鳴き声に対する反応 山陰自然史研究24巻 2017年3月
- ユビナガコウモリに外部寄生するケブカクモバエの宿主識別行動(単著), 2015年12月, 自然環境科学研究 第28巻
- Why do small Japanese flying squirrels Pteromys momonga prefer to use bark of Japanese cedar as a nest material? Study of heart-trapping capacity. (単著) 2014年8月 Natural Environmental Science Research 27巻
- 巣箱利用から見た鳥取県芦津溪谷におけるニホンモモンガ, ヤマネ, ヒメネズミの生息場所選択性(単著), 鳥取県立博物館研究報告, 第50巻
- ニホンモモンガ Pteromys momonga 成獣による巣内同居の誘発要因の分析(単著), 2013年1月 鳥取県立博物館研究報告, 第49巻
- 鳥取県芦津溪谷のニホンモモンガ Pteromys momonga の生態的諸知見(単著), 2012年12月 自然環境科学研究 第25巻
- Why do small Japanese flying squirrels Pteromys momonga prefer to use bark of Japanese cedar as a nest material?(単著), 2012年12月 Natural Environmental Science Research 第25巻
- 動物行動学から見たヒトの脳(単著), 2012年8月 学士院会報 第895巻
- 鳥取県智頭町芦津森林で見られた樹上性齧歯類や潮流の巣箱の使い分け(単著), 2011年3月 鳥取県立博物館研究報告
- A preliminary study of aggressive behavior in Siberian chipmunk Eutamias sibiricus pups: the behavioral pattern and its possible antipredator function (単著), 2010年6月 鳥取環境大学紀要

社会貢献活動

- 「動物行動学から見た動物やヒト」, 「野生動物の保全活動」についての講演
- 野生生物の生息地の保全と結びつけた地域の活性化活動
- 鳥取生物学会会長・特別天然記念物オオサンショウウオ保護方針検討会委員
- 千代川の今後を考える学識懇談会委員
- とっとり生物多様性推進センター協議会委員

Profile

Research

Data



研究キーワード

担保物権 契約法務 不法行為 相続 消費者契約

中山 実郎

NAKAYAMA Jitsuro

理事兼副学長（学生生活・就職，広報，情報担当），
学生支援センター長
教授

所属...経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科経営学専攻

[✉ j-nakaya@kankyo-u.ac.jp](mailto:j-nakaya@kankyo-u.ac.jp)

主な担当科目 企業法概論 民法1 民法2

研究者略歴

1981（昭和56）年3月	法政大学法学部法律学科卒業
1983（昭和58）年3月	明治大学大学院法学研究科博士課程前期2年の課程修了
2004（平成16）年4月	青森中央学院大学 経営法学部 専任講師 同地域マネジメント研究所研究員
2008（平成20）年4月	大阪国際大学 現代社会学部 法律政策学科 准教授
2013（平成25）年4月	大阪国際大学 現代社会学部 法律政策学科 教授
2014（平成26）年4月	大阪国際大学 グローバルビジネス学部 教授
2017（平成29）年4月～	公立鳥取環境大学 経営学部 教授
2020（令和2）年4月～	公立鳥取環境大学 大学院 環境経営研究科 経営学専攻 教授
2022（令和4）年4月～	公立鳥取環境大学 特命学長補佐
2024（令和6）年4月	公立鳥取環境大学 理事兼副学長 学生支援センター長

取得学位 法学修士（明治大学）

専門分野 民法（財産法），消費者法，ビジネス法務

現在の研究テーマ
・契約当事者が負う説明義務について
・未成年者等責任無能力者と損害賠償責任の問題
・担保不動産収益執行の効果について
・契約の成立・効力と消費者保護の問題
・指名債権譲渡の要件
・遺言の方式と要件

所属学会 日本法政学会 関西法政治研究会 青森法学会 日本リスクマネジメント学会
日本政治法律学会

資格 行政書士

研究等活動

【著書】

- ・業界研究学びのことはじめ 共著 2016年 4月 ナカニシヤ出版
- ・民法（総則・物権・担保物権）単著 2011年 3月 文教出版会

【論文】

- ・自筆遺言証書の成立日と相違する日付が記載された遺言の効力 単著 2023年
- ・公立鳥取環境大学紀要2023
- ・所有権留保と集合動産譲渡担保との優劣関係についての再検討 単著 2022年 公立鳥取環境大学紀要2022
- ・グループ会社従業員に対する親会社の対応義務 単著 2020年 公立鳥取環境大学紀要 17巻1号
- ・節税目的でなされた養子縁組と縁組意思の有無 単著 2019年 公立鳥取環境大学紀要 16巻16号
- ・債務者が異議ををとめないでした指名債権譲渡の承諾と譲受人の主観的要件 単著 2018年3月大阪国際大学国際研究論叢第31巻3号
- ・自筆証書遺言の方式に関する近時の最高裁判決 単著 2018年 1月大阪国際大学国際研究論叢第31巻 2号
- ・主債務者が反社会的勢力であった場合の錯誤無効と保証契約の付随義務違反 単著 2017年 3月大阪国際大学国際研究論叢第30巻3号
- ・責任弁識能力のない未成年者の親権者の監督義務 単著 2016年 10月 大阪国際大学国際研究論叢第30巻 2号
- ・法定代理人がない事理弁識能力を欠く常況にある者と民法158条1項の類推適用 単著 2016年 3月大阪国際大学国際研究論叢第29巻 3号
- ・主債務を単独相続した保証人による債務の弁済と時効の中断 単著 2015年10月 大阪国際大学国際研究論叢第29巻1号
- ・承役地の担保不動産競売における未登記通行地役権の消長 単著 2015年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第28巻3号
- ・再度の取得時効の完成と抵当権の帰趨 単著 2014年10月 大阪国際大学国際研究論叢第28巻1号
- ・契約準備段階における説明義務違反と損害賠償責任の成否 単著 2013年10月 大阪国際大学国際研究論叢第27巻1号
- ・居住用建物の賃貸借契約における更新料条項の効力 単著 2013年 1月 大阪国際大学国際研究論叢第26巻2号
- ・居住用建物の賃貸借契約における敷引特約に関する最高裁の判断と課題 単著 2012年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第25巻3号
- ・担保不動産収益執行と賃料債権の相殺をめぐる問題 単著2011年 3月 大阪国際大学国際研究論叢第24巻3号

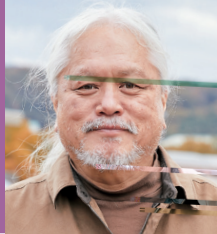
社会貢献活動

- ・鳥取市消費者行政審議会委員
- ・公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構理事

Profile

Research

Data



研究キーワード

コモンス, 森林管理, 先住民, ファミリーフォレスト

根本 昌彦

NEMOTO, Akihiko

副学長(教育, 入試, 研究, 地域連携・国際交流, 企画・評価担当), アドミッションセンター長
教授

所属...環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

nemoto@kankyo-u.ac.jp

主な担当科目 森林科学概論, 森林資源管理論, 森林政策論

研究者略歴

1986 (昭和61)年 3月	北海道大学農学部林学科卒業
1988 (昭和63)年 3月	北海道大学大学院農学研究科修士課程修了
1998 (平成10)年 5月	カナダブリティッシュ・コロンビア大学学術博士 (Ph.D.)
1998 (平成10)年 8月	(財)林業経済研究所 研究員
1999 (平成11)年 4月	(財)木材総合情報センター 専門調査員
2003 (平成15)年 4月	全国森林組合連合会
2005 (平成17)年 4月	同連合会組織部組織グループ長
2006 (平成18)年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科教授
2006 (平成18)年10月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2009 (平成21)年 4月	鳥取環境大学環境マネジメント学科教授
2012 (平成24)年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科教授
2015 (平成27)年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2016 (平成28)年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻教授
2024 (令和 6)年 4月	公立鳥取環境大学 副学長 アドミッションセンター長

取得学位 Ph.D. (ブリティッシュ・コロンビア大学)

専門分野 森林資源管理学

現在の研究テーマ ・「持続可能な森林管理」の達成に向けた政策など

受賞歴 2003 (平成15)年林業経済学会奨励賞

所属学会 林業経済学会, 環境社会学会ほか

研究等活動

【著書】

- ・『カナダ - なかなか進まない先住民による森林管理』, 『森林環境2006』, 2006年, 朝日新聞社
- ・『森林認証制度の国際動向』, 『森林認証と林業・木材産業』, 2004年, 林業改良普及協会
- ・『森林認証制度の可能性 国際的森林認証の動向とインドネシア・マレーシアの試み』, 『アジアにおける森林の消失と保全』, 2003年, 中央法規出版会

【論文】

- ・イギリスにおける森林政策の展開-過去百年の森林造成と森林所有者構造の変化- 2023年, 森林組合No.635
- ・韓国における森林政策の展開と山林組合 2023年, 森林組合No.631
- ・メキシコ土地保有制度の展開とコミュニティフォレスト 2021年, 森林組合No.607
- ・スペインにおける森林・林業と私有林 コモンスの解体と造林政策の展開 2020年, 森林組合No.602
- ・ベトナムのファミリーフォレスト 充実する人工林資源とFLEGT, 森林認証, 森林組合 2019年, 森林組合No.595
- ・カナダ, トルドー政権下の環境および森林・木材政策 「森林バイオエコノミー」の動向に注目して, 2018年, 森林技術 No.912, 日本森林技術協会
- ・オーストラリアの違法伐採対策の展開と日本への教訓, 2018年, 木材情報 No.321, 日本木材総合情報センター
- ・世界の植林地造成の現状と将来展望-文献調査による論点の整理-, 2017年, 公立鳥取環境大学紀要vol.15
- ・熱帯林破壊を先導するアブラヤシ農園の拡大 マレーシア, サバ州における土地利用の展開を事例として, 2015年, 鳥取環境大学紀要 vol.14
- ・世界の違法伐採問題の現局面, 2013年, 木材情報 No.263, 日本木材総合情報センター
- ・環境・先住民と森林管理問題, 2012年, 山林 No.1542, 大日本山林会
- ・人工林の世界的拡大と森林管理問題, 2012年, 木材情報 No.251, 日本木材総合情報センター
- ・森林組合運動と森林認証制度の導入, 2007年, にじ No.617, 協同組合経営研究所
- ・カナダにおける「持続可能な森林経営」の現状と課題, 2003年, 林業経済 Vol.56,5
- ・Dynamics of Aboriginal Land Use Institutions : The Rise and Fall of Community Control Over Reserve Systems in the Lil'wat Nation, Canadian Journal for Native Studies, Vol.22,2. 2002年
- ・カナダ先住民と土地財産権-リルワットネーション居留地におけるコモンスの形成と衰退, 1999年, 環境社会学研究vol.5.

【報告書】

- ・オーストラリアの違法木材対策, 2018年, 日本木質バイオマスエネルギー協会
- ・県産材認証制度の実態と問題点に関する調査報告書 2014年, 日本木材総合情報センター
- ・合法木材供給システムモニタリング報告書, 2010年, 全国木材組合連合会

Profile

Research

Data